

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 12 月 21 日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103268号
法人名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部鹿児島県済生会
事業所名	グループホーム武岡ハイランド
所在地	鹿児島市小野町2427-2 (電話) 099-283-7231
自己評価作成日	平成23年11月27日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年12月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・開設時より一貫して「日々の暮らしを安心安全に笑顔で過して頂きたい」そんな思いでスタッフ自らが入りたいと思い、家族や親戚に自信を持って勧められるホームを目指しています。

・天然温泉でほのぼのとした安らぎのある環境を提供します。

・中庭で栽培した季節の野菜や果物を収穫して季節感を味わい日々を楽しめます。

・個別支援に重点を置き、その方に合った脳活性のレクリエーション・転倒防止のリハビリ・栄養士の指導を受けたバランスの摂れた食事・訪問歯科診療や訪問マッサージなど必要に応じて提供しています。又、その方の生活スタイルを重視し、好きな時間に百人一首の書写や好きな飲み物など一人ひとりに合わせたケアに取り組み、個別性を重視しながら協働性も取り入れ、自律支援に向けてゆっくりとした時間と空間の中でしたい事をしながら、その日一日を笑顔いっぱいでもせるよう支援しています。

・職員のメンタルヘルスへの取り組みを積極的に行い、スタッフ自ら笑顔で働きやすい環境を目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市の大型団地に位置し、近隣には病院や学校、商店などが軒を連ねる利便性ある高台にあり、緑が豊かな場所に建てられている。同一法人のケアハウス、デイサービス、訪問看護ステーションなどが同敷地内にあり、地域福祉や高齢者福祉の一端を担っている。法人内の職員も専門部に所属し、専門的知識や技術を高める機会を多く設け、職員のスキルアップに向けた取り組みを行っている。また職員育成にも力を入れており、ほとんどの職員が有資格者であるが、更なるレベルアップに向けての研修や勉強会、新資格取得の支援も行っている。

職員は毎日、理念を唱和し、利用者が安心して安全に笑顔で過ごしていただけるよう利用者主体の個別ケアに取り組みながら支援している。地域の方々とも交流を図りながら地域に密着した取り組みがなされ、地域密着型サービスとして更なる取り組みが期待されるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関、ホーム内、事業所に掲示し常に確認できるよう配慮している。又、業務前に唱和すると共に定期的にスタッフ会議で共有を図っている。	法人の理念とは別にグループホーム独自の理念を作成し、パンフレットにも明記し玄関や事務所に掲示している。業務前に職員で理念を唱和することで理念の重要性を認識し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所への買い物時挨拶したり地域やホーム内の行事時に行き来し交流を図っている。ケアハウスの住民やディサービス利用者とは散歩や慰問などで交流を深めている。	校区の文化祭に利用者の作品を出展し、文化祭見学に訪れたり、グループホーム合同の運動会や夏祭り、交流会を地域にも呼びかけたりして、地域の一員としての交流に積極的に努めている。また、高校生や障害者のボランティアの受け入れや、日々の買い物や敷地内の他施設の利用者との交流も行い、日常的に交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	センター内の健康祭りで地域の方に向けて認知症についての講演会を開催したり年2回発行している広報誌で情報を提供している。訪問や電話での相談に随時対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月の現状報告、評価や事例紹介等を通じて意見、助言や要望を頂いている。スタッフ会議で確認、共有し業務の改善やサービスの質の向上に活かしている。	民生委員や町内会役員、包括支援センターや社会福祉士の有職者などの他、行政、利用者、家族、職員などの参加があり、ホームの状況報告、評価やヒヤリハット事例などの細かい身近な課題を取り入れ、2ヵ月に1回開催している。また年1回は消防や警察署員の協力を得て防災についても話し合いが行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の職員と運営推進会議等を通し密に連携を図っている。市の窓口担当者と適時情報交換を行っている。又、研修や説明会に参加し助言を頂き協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者とは密に相談や報告を行い、日頃から連携を図ることで協力関係を築くよう努めている。また積極的に市町村主催の研修などにも参加し、情報収集や意見交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年の研修計画で身体拘束をしないケアの実践について学んでおり正しく理解している。玄関の施設に関しては立地環境のため安全面を配慮しながら取り組んでいる。入所時、家族に説明し同意を得ている。	全職員が利用者の日々の変化に目を向け、ヒヤリハットを多く抽出しながら気づきを深め、また日々の業務の中での検討や定期的な勉強会を行うことで身体拘束をしないケアを実践している。環境上、安全面の配慮が必要であるが職員間で連携し、利用者に寄り添い安全で安心な暮らしを支えられるよう努めている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年の研修計画に高齢者虐待防止法について学んでおり又適時スタッフ会議の議題として取り上げ、言葉の虐待に関しても見過ごされないよう注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月の研修計画に権利擁護に関する制度について学んでいる。ご家族の相談に応じたり参考文献を提供し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時や退所時、又は契約改定等の際は、重要事項説明書や事業所の方針に基づき説明を十分行い、利用者やご家族の不安や疑問点について理解・納得を得るよう図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者・ご家族との信頼関係を築くよう努めており、感情を表出できるよう支援している。又、毎年実施している満足度調査や市からの相談員派遣の結果を運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは、日常生活の中で意見や要望を引き出し、家族からは電話や面会を利用して聞き出すようにしている。また、毎年、無記名の満足度調査を実施し介護相談員派遣を受け入れ、結果をもとに職員で話し合い利用者、家族の意見や要望が運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日常的にスタッフからの意見や提案を聞く機会を設けている。会議にて検討し運営に反映させている。</p>	<p>日々の業務や会議などを活用し、日頃から積極的に意見や提案を出しやすい環境体制の中で職員の声に耳を傾けている。様々な意見や提案について法人内でも話し合いを行うなど、運営に反映できるよう取り組んでいる。また、外部研修への積極的参加や資格取得への支援体制も行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>毎年、個別面談やアンケート調査を実施し状況把握を行い職場環境・条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の年間計画を立て研修を受ける機会を確保している。外部研修にも参加し伝達研修を行っている。資格取得に対し積極的に勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連絡協議会に入会し各研修会に参加、連携を図っている。又地域ケア検討会に参加し情報交換を行いサービスの質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者・ご家族・ケアマネやサービス事業所担当者からの情報を下に面談時十分に思いを聞き取り本人が安心して過ごせるような環境を提供し信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望や問題点等に関してその都度ご家族へ連絡し解決に向けての話し合いや相談を行い信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族の思いを受け止め今の状況に向けたサービス内容を提案している。必要時は他事業所へ利用依頼等を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の生活や一緒に行う家事等を通し、本人の知恵・経験を学びながら支え合い、家族のように喜怒哀楽を共に過している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子を適時連絡し報告している。面会時や行事に参加して頂き情報交換を行いながら一緒に本人を支える関係作りを築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・ヘルパー支援で墓参り・かかりつけの病院や美容院・外食など行っている。又、在宅時利用していたデイサービスやケアハウスの住民との交流が途切れないよう支援している。	入居前からの友人や、なじみの場所への訪問が継続して行えている。個々の希望に沿った個別支援ができるように職員の引率、または家族やヘルパーとの協力体制を整え関係継続の支援に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	趣向や生活歴などの背景を考慮し座る場所など提案している。自由に好きな場所で談話や家事が行える環境作りを行っており孤立しないよう調整役を務めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とする利用者やご家族とは継続的にケアマネや主治医と連携を図り情報交換を行いながらフォローし相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や表情から隠れた思いを推し量り、出来るだけ意向を把握するよう努めている。ご家族やスタッフ間からの情報を得、本人本位に検討している。	日々利用者に寄り添うケアに取り組む中で、表情や会話、行動などを通し、職員間でも共有しながら思いや意向を把握している。困難な方に対しては、家族からの情報収集や日々の様子観察などから利用者本位の思いや意向を汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談時に本人やご家族からの聞き取りを行っている。又、ケアマネや利用していた事業所や主治医からの情報を参考に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の暮らし方や身体状態から利用者のリズム（食事・排泄・生活習慣等）を知り本人の出来る事、している事、出来ない事を総合的に把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族・主治医・訪問看護師・スタッフ間で意見交換しながらプランに添って評価やカンファレンスを行い本人やご家族の意向を尊重して個物の介護計画を作成している。	本人、家族の想いや要望、また職員や関係多職種からの意見を取り入れ、なじみの人や場所、地域交流などが継続して支援できるような個別の介護計画が作成されている。また1ヶ月毎にモニタリングを行い、介護計画と日々のケアの内容を確認し、新たな気づきや状態変化などは随時見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の生活・健康・排泄状態等を記録し引き継ぎ時に報告すると共に随時、情報交換を行い共有しながらケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	買い物などの外出や理髪・受診等本人やご家族の状況や要望に応じ出来る限り応じられるよう支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	協力医療機関へ適時相談し連携を図っている。又、地域の警察や消防などの協力支援体制があり安全に暮らせるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の意向を尊重している。主治医との連携は状態に応じ密に図っている。受診に関してはご家族支援を基本にしているが不可能な場合はヘルパーや職員で支援している。	協力医療機関やかかりつけ医で継続して受診でき、往診や緊急時の対応についても話し合っている。法人の訪問看護との契約にて毎週、看護師の訪問があり健康管理や情報共有が密に行われ、利用者や本人の安心につながる支援ができています。受診の際にはホームでの状況がわかるように情報提供書を作成し医療との連携体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師と医療連携を図り定期的に（週1回）健康管理を依頼している。又毎日の健康チェック時の異常や必要時は随時相談できる体制を整えている。緊急時等隣接事業所であり早急な医療活用が可能である。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した医療関係者との情報交換すると共に定期的に面会し状態観察し励ましている。早期退院が可能な際は訪問看護師と連携を図り医療処置を行いながらホームでの生活が送れる体制を作っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に必ず説明し支援方法の確認を行っている。又、必要に応じて本人・ご家族へ随時説明を行っている。主治医や訪問看護師等と密に連携を図り今後の方針についての情報の共有を図っている。	入居時に重度化や終末期について話し合いを行い、支援方法について理解を得るようにしている。医療機関や訪問看護と密に連携を図り、家族と共に入所者の最良の支援に向けた取組みに努めている。また、職員は救命救急の講習を受講し救命修了書を取得し、チームでの支援として取り組む体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフの殆どが普通救命修了書を習得している。管理者も救命普及員の研修を習得しているため随時スタッフへの伝達研修し実践力を身に付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署の協力を得て防災訓練を利用者と共に行っている苑内でも定期的に行っており全職員が避難出来る方法を周知している。又、法人内でも緊急連絡網や協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、夜間想定を含めた避難訓練を行っており、法人内の緊急連絡網や緊急協力体制も整えている。また備蓄の確保、スプリンクラーや緊急通報装置の設置も完了している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であり人格者として尊重し日々の支援や声かけに誇りやプライバシーを損ねないよう十分配慮している。	個人情報保護について施設内にも掲示されている。日々のケアの中でも利用者を尊重し、言葉かけなどにも十分、配慮しながら支援している。接遇やプライバシーについての勉強会を行い、職員への意識向上が図られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や思いが表出しやすい環境を提供し自己決定が出来るよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に一日の流れはあるが本人のペースや体調・表情・希望等を考慮しゆっくり過ごせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の趣向に応じ出来ない方は一緒に衣類を選んだり希望者には髪染めやを行っている。外出時は本人の希望に添って化粧を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を献立に取り入れている。楽しみながら能力に応じた調理、盛り付け、片づけ等行っている。同じテーブルで静かな曲を流し見守りながら一緒に食事を取っている。	個々の力量に応じて、利用者と職員と一緒に食事の準備や片づけなどが行える雰囲気になっている。また嗜好の聞き取りを行い、法人内の栄養士の助言をもらいながら栄養面にも配慮し献立を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは法人内の栄養士の確認を得ている。食事量・水分に関しては個別に把握しスタッフ間で情報交換しながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア・義歯洗浄への声かけや介助を行っている。訪問歯科診療を依頼し口腔ケア状態や口腔ケアの助言を得ている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別での排泄パターンを把握し表情や言動で声かけ案内しトイレでの排泄が行えるよう支援している。	排泄パターンを把握し、基本的にトイレでの排泄を継続できるよう支援を行っている。入院に伴いオムツ着用になった方に対しても、声かけや身体状況を確認しながらオムツ外しに向けた排泄の自立支援を行っている。また状況に応じてポータブルトイレの設置や声かけや誘導方法を工夫し支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状態を記録しており、個別に応じて食材の工夫や水分摂取を促し運動やマッサージ等で予防に取り組んでいる。必要時は主治医へ相談し服薬にて調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴（天然温泉）出来るよう用意している。時間帯は一応決めてはいるが本人の希望や必要性を考慮しゆったり入れるように支援している。	利用者の希望に合わせた入浴支援や毎日の入浴も可能である。また、身体状況に応じて隣接している法人内のデイサービスの温泉を利用することもできる。時に外出し足湯に行くなど、入浴を楽しむことができる支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	空調や照明等を整えいつでも好きな時間に気持ち良く安らぎの持てる環境を提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の一覧表を作成しスタッフ会議時に共有を図っている。服薬時は3回確認の徹底を行い、症状の変化時は上司・看護師・主治医の指示を仰いで対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や趣味を参考に家事やレクの提供を行っている。得意分野への提供を行い楽しみや自信につながるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	晴天時は散歩に出かけたり裏庭でお茶を楽しむ事もある。年間行事を作成し外食や地域の行事に参加している。本人の希望に添い仏壇の花や髪染めの買い物支援や家族支援により墓参りなど行っている。	普段の散歩や買い物同行、花見や紅葉見学、ぶどう狩り、校区行事への参加など年間行事を計画し、季節を感じる外出支援に取り組んでいる。また敷地内のデイサービスやケアハウスにも訪問し交流を深めたり、地域への外食や家族とも連携を図りながら日常的な外出支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望時ご家族へ確認の上、小口現金立て替えにて支援している。買い物時、本人が使えるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時いつでも電話できるように支援している。又、年賀状等ご家族や知人と交換している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るい食堂兼居間は台所からの匂いや音が伝わり生活感に溢れている。テレビやラジオの音に配慮し季節の花を常時飾り、窓際に椅子を設置し外を眺め季節感を味わっている。空気清浄機や加湿器等設置し空調管理にも努めている。</p>	<p>季節の飾り物や花、外出した時の写真、利用者の作品や職員の写真も飾られ、温かみのある家族的雰囲気と季節感を取り入れた工夫がされている。また空気清浄機や加湿器が設置され、空調管理や感染予防対策を行い居心地よく過ごせる環境づくりを行っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内の座敷で利用者同士で談話したり新聞や雑誌を読んだり思い思いに過している。又、ソファや椅子が置かれ自由に好きな場所で過せるように居場所の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人・ご家族と相談しながら使い慣れた物等持参し居心地良く安心できる空間作りを行っている。ご家族の写真を飾ったり仏壇を持参している方もいる。</p>	<p>仏壇や家具、家族写真など、利用者の使い慣れたものが持ち込まれており安心して過ごせる配慮がされている。また寝具の一部はリースを利用し清潔も保たれ、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者の方々の状態に応じスタッフ間で情報交換し安全に快適に生活できるように工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム武岡ハイランド 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム武岡ハイランド 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない